

テーマ 「EV 普及推進を考える」

場 所： 関西大学 千里山キャンパス 第1学舎1号館 千里ホール

日 時： 2024年9月14日(土) 16時～17時30分 (参加無料・申込不要)

<概要>

EV 推進の道は容易ではない。まず、EV の利点が活かされるためには、脱炭素・再エネ社会の実現が前提となる。また、EV バッテリーは希少資源を必要とするため、EV は一般に高価であり、普及には購入補助金を必要とする。さらに、EV バッテリーの主要原材料の多くが中国に依存しており、原材料を安く調達できるメリットを活かして中国製 EV はシェアを拡大している。そのため、欧米では、欧州電池規制をはじめとして中国製 EV を市場から排除する動きが見られる中、世界の自動車市場では急速に経済のブロック化が進んでいる。EV 推進が直面するこうした問題に対して、日本はどのように対処すべきか、産官学の有識者の討論を通して考えていきます。

[第1部] イントロ(論点整理)とパネリストによるプレゼンテーション

EV 推進が直面する課題

- ①電力のグリーン化
- ②EV バッテリーの原材料確保と中国依存
- ③保護主義/経済ブロック化のリスク

[第2部] 総合討論

パネリスト

- ・経済産業省製造産業局自動車課 自動車戦略企画室長 田邊国治
- ・環境省環境再生・資源循環局総務課 資源循環ビジネス推進室長 河田陽平
- ・本田技研工業 コーポレート戦略本部 リソースサーキュレーション企画部長 多賀渉
- ・本田技研工業 コーポレート戦略本部 エネルギーサービス事業開発部長/エグゼクティブチーフエンジニア 木村英輔
- ・日産自動車総合研究所エキスパートリーダー 上條元久
- ・中部大学名誉教授、東海大学教授・副学長 細田衛士

司会 関西大学教授 新熊隆嘉

主催 環境経済・政策学会

後援 吹田市